



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月5日

上場会社名 平河ヒューテック株式会社
 コード番号 5821 URL <http://www.hewtech.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 執行役員社長 (氏名) 篠 祐一

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 星 一昭

TEL 03-5493-1711

四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	19,496	5.7	1,700	16.0	1,762	17.1	1,506	10.6
29年3月期第3四半期	18,438	13.8	2,025	7.9	2,126	10.8	1,685	36.6

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 1,929百万円 (0.2%) 29年3月期第3四半期 1,926百万円 (80.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	107.23	
29年3月期第3四半期	120.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	31,931	23,348	73.1	1,662.13
29年3月期	30,633	21,721	70.9	1,546.29

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 23,348百万円 29年3月期 21,721百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		6.00		12.50	18.50
30年3月期		9.00			
30年3月期(予想)				9.50	18.50

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	6.3	2,600	1.5	2,600	1.6	2,000	5.4	142.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期3Q	17,627,800 株	29年3月期	17,627,800 株
期末自己株式数	30年3月期3Q	3,580,180 株	29年3月期	3,580,160 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期3Q	14,047,635 株	29年3月期3Q	14,047,640 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(会計上の見積りの変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費と輸出の持ち直し、設備投資の増加もあり、緩やかに回復しました。

海外経済は、中国景気は持ち直しの動きが続きアジア経済について総じて回復基調となり、米国経済では個人消費や設備投資の増加から拡大基調を維持し、欧州経済も概ね緩やかに回復しました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス業界におきましては、半導体関連の設備投資、ロボット等生産設備への投資が好調な拡大をみせ、電装化の進むカーエレクトロニクス市場は引き続き堅調に推移しました。一方、情報通信機器市場は弱含みで推移しました。

このような環境の下、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、車載ケーブル及び半導体製造装置用ケーブル等の売上が堅調に推移したことにより、売上高は194億96百万円（前年同期比5.7%増）となりました。銅価格の上昇、成長分野への設備投資及び研究開発費の増加等により、営業利益は17億円（同16.0%減）、経常利益は17億62百万円（同17.1%減）となりました。投資有価証券売却益等により、親会社株主に帰属する四半期純利益は15億6百万円（同10.6%減）となりました。

主なセグメント別の業績は、次のとおりです。

（電線・加工品）

車載用ケーブル及び半導体製造装置用ケーブル等の売上が堅調に推移したことにより、売上高は160億78百万円（前年同期比7.2%増）となりました。銅価格の上昇、成長分野への設備投資及び研究開発費の増加等により、セグメント利益は17億35百万円（同12.1%減）となりました。

（電子・医療部品）

医療用特殊チューブの売上は微増となりましたが、ネットワーク機器の売上が微減となり、売上高は33億6百万円（前年同期比0.6%減）となりました。成長分野への設備投資及び研究開発費の増加等により、セグメント利益は3億63百万円（同12.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ12億97百万円増加し、319億31百万円となりました。主な増加は、受取手形及び売掛金が11億24百万円、機械装置及び運搬具（純額）が6億47百万円、原材料及び貯蔵品が2億75百万円増加し、主な減少は、現金及び預金が9億29百万円減少しました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ3億30百万円減少し、85億82百万円となりました。主な減少は、長期借入金が6億46百万円減少し、主な増加は、支払手形及び買掛金が3億57百万円増加しました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ16億27百万円増加し、233億48百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益15億6百万円、為替換算調整勘定の増加2億90百万円及び利益剰余金の配当3億2百万円であります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の連結業績予想につきましては、平成29年5月10日に公表の業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,800	5,870
受取手形及び売掛金	6,973	8,098
有価証券	298	294
商品及び製品	1,802	1,768
仕掛品	747	742
原材料及び貯蔵品	2,087	2,363
繰延税金資産	143	148
その他	459	769
貸倒引当金	△1	△3
流動資産合計	19,312	20,052
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,994	2,838
機械装置及び運搬具(純額)	2,428	3,076
土地	2,549	2,543
その他(純額)	700	746
有形固定資産合計	8,672	9,205
無形固定資産	268	417
投資その他の資産	2,380	2,255
固定資産合計	11,321	11,878
資産合計	30,633	31,931

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,365	2,723
短期借入金	1,174	1,099
未払法人税等	249	283
賞与引当金	51	109
その他	1,250	1,166
流動負債合計	5,091	5,382
固定負債		
長期借入金	1,693	1,046
退職給付に係る負債	1,902	1,929
役員退職慰労引当金	45	36
その他	180	187
固定負債合計	3,820	3,199
負債合計	8,912	8,582
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,555	1,555
資本剰余金	1,459	1,459
利益剰余金	19,659	20,864
自己株式	△2,339	△2,339
株主資本合計	20,334	21,538
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	358	493
為替換算調整勘定	1,017	1,307
退職給付に係る調整累計額	11	9
その他の包括利益累計額合計	1,387	1,810
純資産合計	21,721	23,348
負債純資産合計	30,633	31,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	18,438	19,496
売上原価	13,643	14,807
売上総利益	4,794	4,688
販売費及び一般管理費	2,768	2,987
営業利益	2,025	1,700
営業外収益		
受取利息	13	11
受取配当金	16	18
為替差益	52	6
その他	34	44
営業外収益合計	117	80
営業外費用		
支払利息	8	7
その他	8	11
営業外費用合計	17	18
経常利益	2,126	1,762
特別利益		
固定資産売却益	—	2
投資有価証券売却益	—	307
受取保険金	—	4
特別利益合計	—	314
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2
減損損失	4	—
貸倒引当金繰入額	—	168
保険解約損	0	—
特別損失合計	5	171
税金等調整前四半期純利益	2,120	1,906
法人税、住民税及び事業税	482	443
法人税等調整額	△46	△43
法人税等合計	435	400
四半期純利益	1,685	1,506
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,685	1,506

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益	1,685	1,506
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	106	134
繰延ヘッジ損益	△2	—
為替換算調整勘定	122	290
退職給付に係る調整額	14	△1
その他の包括利益合計	240	422
四半期包括利益	1,926	1,929
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,926	1,929
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

該当事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,001	3,326	18,328	109	18,438	—	18,438
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	7	19	—	19	△19	—
計	15,013	3,334	18,347	109	18,457	△19	18,438
セグメント利益	1,975	415	2,391	64	2,455	△429	2,025

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△4億29百万円には、セグメント間取引消去△4百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4億25百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	電線・加工 品	電子・医療 部品	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,078	3,306	19,385	111	19,496	—	19,496
セグメント間の内部 売上高又は振替高	8	18	27	—	27	△27	—
計	16,087	3,324	19,412	111	19,523	△27	19,496
セグメント利益	1,735	363	2,099	60	2,159	△458	1,700

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、転売品及び不動産事業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額△4億58百万円には、セグメント間取引消去△9百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△4億49百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。